

整 形 外 科 学

| | | |
|--------|-----|-----|
| 教 授 | 辻 | 陽 雄 |
| 助教授(前) | 玉 置 | 哲 也 |
| 助 教 授 | 伊 藤 | 達 雄 |
| 講 師 | 館 崎 | 慎一郎 |
| 講 師 | 山 田 | 均 |
| 助 手 | 加 藤 | 義 治 |
| 助 手 | 高 野 | 治 雄 |
| 助 手 | 松 井 | 寿 夫 |
| 助 手 | 吉 田 | 孝太郎 |
| 助 手 | 岡 野 | 良 文 |
| 助 手 | 森 田 | 多 哉 |
| 助 手 | 丸 田 | 喜美子 |
| 文部技官 | 佐 野 | 明 美 |

◆ 著 書

1) 辻 陽雄：腰痛症(変形性脊椎など)。「整形外科薬物療法ハンドブック」津山，山本，林編，206—210，南江堂，1985。

2) 辻 陽雄：整形外科疾患診断の理念と特殊診断法の位置づけ。「整形外科画像診断学」辻 陽雄，林 浩一郎編，1—22，南江堂，1985。

3) 辻 陽雄：Mylography (脊髓腔造影)。「整形外科画像診断学」辻 陽雄，林 浩一郎編，106—137，南江堂，1985。

4) 辻 陽雄：Discography (椎間板造影)。「整形外科画像診断学」辻 陽雄，林 浩一郎編，145—158，南江堂，1985。

5) 辻 陽雄，海木玄郷：腰痛・胸壁痛・「整形外科ペインクリニック」恩地 裕，上野良三編，181—238，金原出版，1985。

6) 辻 陽雄：整形外科疾患—現代医学の立場から。「現代の漢方治療」熊谷 朗監修，116—119，東洋学術出版，1985。

7) 辻 陽雄，海木玄郷：ビタミンEと整形外科的疾患。「ビタミンE—基礎と臨床—」美濃，福場監修，466—471，歯科薬出版，1985。

8) 辻 陽雄：腰痛症「プライマリケア 私の処方」日野原重明編，576—579，中外医薬社，1985。

9) 伊藤達雄，辻 陽雄：ぎっくり腰。「救急治療シリーズ：腰痛」杉本 侃編，55—78，中外医薬社，1985。

10) 辻 陽雄：腰背痛。「今日の診断指針」，194—197，医学書院，1985。

11) Tamaki T: Intraoperative Spinal Cord Monitoring with the Spinal Cord Evoked Poten-

cial. Spine, by Bradford D. and Hensinger R.(ed.), 472—479, The Pediatric Spine, Thieme Inc., New-York, 1985.

◆ 原 著

1) 関戸弘通，玉置哲也，加藤義治，高野治雄，北野 悟：Hereditary sensory neuropathy の1例とその臨床神経生理学的知見。臨床整形外科 20：103—107，1985。

2) Tsuji H., Tamaki T., Itoh T., Yamada H., Motoe T., Tatzaki S., Noguchi T., and Takano H.: Redundant Never Roots in Patients with Degenerative Lumbar Spinal Stenosis. Spine 10: 72—82, 1985.

3) 半田豊和，辻 陽雄，飯田鷗二，田島剛一，森 喜紀：腰椎椎間板ヘルニア摘出術後に生じた極めて稀な ossified extradural pseudocyst (ossified meningocele spurius) の1例。臨床整形外科 20：173—178，1985。

4) 北野 悟，加藤義治，平野典和，関戸弘通，辻 陽雄：急性弛緩性対麻痺を示した第6—7胸椎椎間板脱出の1例。臨床整形外科 20：179—185，1985。

5) 高野治雄，玉置哲也，辻 陽雄，高桑一彦，関 隆夫，野口哲夫：馬尾性間欠跛行にたいする下肢電気刺激効果の解析。中部日本整形外科災害外科学会雑誌 28：723—724，1985。

6) 八島省吾，浦山茂樹，石井 勉：腰筋拘縮発作をくり返した慢性化膿性脊椎炎の1例。整形・災害外科 28：567—570，1985。

7) 館崎慎一郎，辻 陽雄，加藤義治，八島省吾，関戸弘通，小坂泰啓：転移性胸椎腫瘍にたいする Dual Ceramic Spacer Replacement. 整形外科セラミック・インプラント研究会記録集(1983) 3：379—382，1985。

8) 館崎慎一郎，辻 陽雄，加藤義治，松井寿夫，米沢孝信，関戸弘通，小坂泰啓，八島省吾：転移性脊椎腫瘍にたいする ceramic spacer replacement の適応と意義。臨床整形外科 20：527—537，1985。

9) 加藤義治，伊藤達雄，本江 卓，平野典和，丸田喜美子，辻 陽雄：C₁/C₂ lateral puncture による Metrizamide myelography の合併症について。整形外科 36：515—522，1985。

10) 伊藤達雄，辻 陽雄：頸椎症性脊髄症における成績判定スコアシステムの問題点と提案—日整会判定基準とわれわれの評価システム—。整形外科 36：733—740，1985。

11) 辻 陽雄，玉置哲也：脊髄腫瘍の手術。臨床

整形外科 20:631-643, 1985.

12) 半田豊和, 山田 均, 辻 陽雄: 腰椎カリエスに合併した腹部仮性大動脈瘤の1治験例. 整形外科 36:1189-1194, 1985.

13) 石井 勉, 館崎慎一郎, 浦山茂樹, 八島省吾: 急性化膿性骨髄炎と近似した左脛骨原発悪性リンパ腫の1例. 整形・災害外科 28:1691-1694, 1985.

14) 海木玄郷, 辻 陽雄, 米沢孝信, 関戸弘通, 高野 隆, 佐野明美, 山下真一郎: H₂O₂ 定量走行負荷による実験の変形性関節症の作製および α -tocopherol による進展抑制効果について(第1報). 整形外科基礎科学 12:397-402, 1985.

15) 加藤義治, 辻 陽雄, 北野 悟, 佐野明美: EHDP 投与 rat の autoradiography による検討—とくに硬組織所見, Ca 代謝および細胞動態を中心として—. 整形外科基礎科学 12:473-478, 1985.

16) 佐野明美, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 北野 悟: 正常家兎腰椎椎間板における Collagen, Non-collagenous protein および Elastin の部位別含量と ³H-Lysine incorporation について. 整形外科基礎科学 12:59-62, 1985.

17) 浦山茂樹, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 西島宗孝, 石井 勉, 高野 隆, 佐野明美: 家兎腰椎椎間板髄核摘出後の細胞ならびに線維輪構築に関する光顕的ならびに電顕的変化について. 整形外科基礎科学 12:509-514, 1985.

18) 辻 陽雄: 慢性腰痛に対する特殊検査の実態と問題点. 整形・災害外科 28:1783-1790, 1985.

19) 松井寿夫, 伊藤達雄, 本江 卓, 市村和徳: 環軸椎脱臼に対する wiring の問題点とその工夫. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 28:439-441, 1985.

20) 山田 均, 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 高野治雄, 浦山茂樹, 高桑一彦, 小坂泰啓: 末梢神経の伸張, 過伸張における神経活動と形態変化に関する研究. 日整会誌 59:578-579, 1985.

21) 山田 均, 加藤義治, 八島省吾, 杉内英治: 大きな骨欠損を伴う際の脛骨コンポーネント単独再置換における一工夫. 人工関節研究会記録 15:75-76, 1985.

22) 加藤義治, 辻 陽雄, 佐野明美: Ethane-1-hydroxy-1, 1-diphosphonate (EHDP) の成長期骨端軟骨板に及ぼす形態ならびに代謝変調に関する研究. 日整会誌 59:706-707, 1985.

23) 平野典和, 辻 陽雄, 丸田喜美子, 関戸弘通, 佐野明美, 吉仲孝仁: 椎間板水代謝に関する研究(第1報) —Tritiated water による正常家兎椎間

板の部位別代謝について—. 整形外科基礎科学 12:514-516, 1985.

24) Tamaki T., Takano H., and Takakuwa T.: Spinal Cord Monitoring: Basic Principle and Experimental Aspects. Central Nervous System Trauma 2:137-149, 1985.

25) 辻 陽雄: 変性腰部脊柱管狭窄の症状発現に関与する馬尾性因子. 整形外科MOOK 41:68-76, 1985.

◆ 総 説

1) 辻 陽雄: 腰痛の薬物療法. 臨床のあゆみ 5:13-16, 1985.

2) 辻 陽雄: 腰痛, その考え方と治療. 臨床と研究 62:193-196, 1985.

3) 辻 陽雄: 腰痛の診断, b) 診察のコツ. 治療学 15:181-184, 1985.

4) 辻 陽雄: 「頸・肩・腕の痛みとしびれ」—その診かた考え方—. 臨床針灸シンポジウム 2:62-71, 1985.

5) 辻 陽雄: 腰痛症の生活指導. 日本医師会雑誌, 1985.

◆ その 他

1) 辻 陽雄: 第13回脊椎外科研究会 座長総括 / 「III. 腰椎—Posterior Instrumentation (hook & rod system)—」の部. 臨床整形外科 20:333-335, 1985.

2) 館崎慎一郎: 癌—最近の診断と治療—小児癌(骨肉腫). 富山市医師會報 170:8-9, 1985.

3) 辻 陽雄: 医学教育・卒後臨床教育に不可欠な或る認識(その1). 「学園だより」富山医科薬科大学 22:14-15, 1985.

4) 辻 陽雄: 卒前・卒後臨床教育に不可欠な或る認識(その2)—診断学と発想法—. 「学園だより」富山医科薬科大学 23:9-10, 1985.

5) 加藤義治, 辻 陽雄: 神経線維腫症. 整形外科 36 1985.

6) 辻 陽雄: 腰痛症. ノンステロイド剤とプロスタグランディン (CIBA-GEIGY MEDICAL FILE), 30-33, 1985.

7) 辻 陽雄: 観血的療法. Pharma Medica 3:75-77, 1985.

8) 辻 陽雄: 中・高年者のあし・こしの痛み. Health Educational Video Library 15, 丸善, 1985.

9) 辻 陽雄: 名医からのメッセージ. NHK 監修 (NHKカセットテープ), 1985.

◆ 学会報告

1) 関 隆夫, 高野治雄, 若宮一宏, 玉置哲也, 伊藤達雄, 館崎慎一郎: 一見髄内に占拠を示した砂時計型 Neurinoma の 1 例. 第94回北陸整形外科集談会, 1985, 3, 金沢.

2) 高野 隆, 藤井保寿, 本江 卓, 高橋一雄, 伊藤達雄: 後穹変形を伴う先天性頸椎癒合症における外傷性上位頸髄損傷の一例. 第94回北陸整形外科集談会, 1985, 3, 金沢.

3) 北川秀機, 海木玄郷, 金森昌彦, 館崎慎一郎, 伊藤達雄, 辻 陽雄: 胸椎部骨化性くも膜炎と腰仙椎部硬膜内中心性骨化巣を有する脊髄・馬尾障害の 1 治験例. 第94回北陸整形外科集談会, 1985, 3, 金沢.

4) 八島省吾, 西能正一郎, 西能 弘, 吉岡 勉: 硬膜内に脱出した腰椎椎間板ヘルニアの 1 例. 第94回北陸整形外科集談会, 1985, 3, 金沢.

5) 平野典和, 佐野明美, 市村和徳, 辻 陽雄: 椎間板水代謝に関する研究(第2報). 第6回放射同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

6) 加藤義治, 佐野明美, 辻 陽雄: EHDP の成長期骨端軟骨板に及ぼす形態並びに代謝変調に関する研究. 第6回放射同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

7) 佐野明美, 浦山茂樹, 丸田喜美子, 辻 陽雄: 実験的椎間板ヘルニアにおける Collagen, Non-collagenous protein の地理学的分布変化と³H-Lysine incorporation の変調について. 第6回放射同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

8) 平野典和, 辻 陽雄: 椎間板³H₂O オートラジオグラムの初成功. 第6回放射同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

9) 平野典和, 辻 陽雄, 佐野明美, 市村和徳: 椎間板水代謝に関する研究(第2報)一上下振動(長軸)が正常椎間板水代謝に与える影響について一. 第13回整形外科基礎研究会, 1985, 4, 名古屋.

10) 辻 陽雄, 佐野明美, 浦山茂樹, 丸田喜美子: 実験的椎間板ヘルニアにおける Collagen, Non-collagenous protein の地理学的分布変化と³H-Lysine incorporation の変調について. 第13回整形外科基礎研究会, 1985, 4, 名古屋.

11) 辻 陽雄, 本田順子, 坂下智婦美: 手術摘出ヒト腰椎椎間板・黄色靭帯の collagen, non-collagenous protein および elastin の地理学的分布と変性. 第13回整形外科基礎研究会, 1985, 4, 名古屋.

12) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 前田明夫: ラット尾椎椎間板内および椎体周囲への H₂O₂ 注入による結

合織骨化の誘発(第1報). 第13回整形外科基礎研究会, 1985, 4, 名古屋.

3) 浦山茂樹, 辻 陽雄, 石井 勉, 金森昌彦: H₂O₂ 椎間板内注入による家兎椎間板の超微細構造変化. 第13回整形外科基礎研究会, 1985, 4, 名古屋.

14) Tsuji H., Sano A., Maruta K., and Hirano N.: Metabolic Activities of Connective Tissue in Normal and Herniated Lumbar Intervertebral Discs: ³H-Lysine Incorporation into Collagen and Noncollagenous Protein. 12th Annual Meeting, The International Society for the Study of the Lumbar Spine, 1985, 4, Sydney.

15) 辻 陽雄: 慢性腰痛にたいする特殊検査の実態と問題点. 第14回日本脊椎外科研究会, 1985, 6, 東京.

16) 玉置哲也: 馬尾性間欠跛行の電気生理学的病態解析. 第14回日本脊椎外科研究会, 1985, 6, 東京.

17) 若宮一宏, 高野治雄, 関 隆夫, 西島宗孝, 館崎慎一郎, 玉置哲也: 小指探指屈筋腱皮下断裂の 2 例. 第95回北陸整形外科集談会, 1985, 6, 金沢.

18) Itoh. T. and Okano Y.: An Isolated Congenital Narrow Canal of the Atlas. Cervical Spine Reserch Society, 1985, 6, Strasbourg.

19) 伊藤達雄, 森田多哉, 北川秀機, 松井寿夫, 浦山茂樹, 玉置哲也, 辻 陽雄: 化膿性脊椎炎における診断と治療の問題点. 第64回中部日本整形外科災害外科学会, 1985, 5, 名古屋.

20) 松井寿夫, 辻 陽雄, 伊藤達雄, 市村和徳, 金森昌彦: 俯瞰ディスコグラムによる椎間板亀裂変性の評価精度と有意性について. 第58回日本整形外科総会, 1985, 4, 岐阜.

21) 玉置哲也, 高野治雄, 高桑一彦, 辻 陽雄, 中川武夫, 今井克己: 脊髄誘発電位による脊髄モニタリングの適応と臨床的基礎的問題点. 第58回日本整形外科総会, 1985, 4, 岐阜.

22) 加藤義治, 辻 陽雄, 佐野明美: Ethane-1-hydroxy-1, 1-diphosphonate (EHDP) の成長期骨端軟骨板に及ぼす形態ならびに代謝変調に関する研究. 第58回日本整形外科総会, 1985, 4, 岐阜.

23) 山田 均, 玉置哲也, 辻 陽雄, 野口哲夫, 高野治雄, 浦山茂樹, 高桑一彦, 小坂泰啓: 末梢神経の伸張, 過伸張における神経活動と形態変化に関する研究. 第58回日本整形外科総会, 1985, 4, 岐阜.

24) 玉置哲也, 山田 均, 伊藤達雄, 館崎慎一郎,

高野治雄, 清水一夫: スタインマンピンを用いた指骨髄内固定術の経験. 第64回中部日本整形外科災害外科学会, 1985, 5, 名古屋.

25) 辻 陽雄, 加藤義治, 松井寿夫, 金森寿夫: 脊柱管狭窄を伴う腰部椎間板ヘルニアはたしてヘルニオトミーは必要か. 第64回中部日本整形外科災害外科学会, 1985, 5, 名古屋.

26) 玉置哲也: 脊髄障害病態の電気生理学的評価と予防. 第2回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1985, 8, 富山.

27) 辻 陽雄: 椎間板変性の病理・生化学的背景と腰痛対策. 第2回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1985, 8, 富山.

28) 伊藤達雄: 脊髄障害の鑑別診断と治療—その最近の動向. 第2回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1985, 8, 富山.

29) 館崎慎一郎: 骨軟部腫瘍にたいする化学療法の理論と実際. 第2回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1985, 8, 富山.

30) 辻 陽雄: 腰椎椎間板ヘルニア手術設計の考え方と実際. 第2回富山医科薬科大学整形外科立山セミナー, 1985, 8, 富山.

31) 野口哲夫, 長尾竜郎, 清水美恵子, 島田一郎: 歩行分析—その1. 正常者について—. 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

32) 石原裕和, 上田 剛, 高桑一彦, 伊藤達雄: 特異な転位を示したリウマチ性上位頸椎亜脱臼の1例(環椎後方転位, 側弯). 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

33) 森田多哉, 伊藤達雄, 山田 均, 加藤義治, 玉置哲也, 辻 陽雄: 当教室における Halo-vest の使用とその工夫. 第65回中部日本整形外科災害外科学会, 1985, 11, 倉敷.

34) 松井寿夫, 館崎慎一郎, 玉置哲也, 加藤義治, 高桑一彦, 北川正信: 低リン酸血症性ビタミンD抵抗性くる病に胸椎黄色靱帯骨化症を合併した1例. 第65回中部日本整形外科災害外科学会, 1985, 11, 倉敷.

35) Tsuji H., Katoh Y., Matsui H. and Kanamori M.: Is Necessary to Remove Protruded Mass in the Posterior Surgery in Aged Patient with Lumbar Disc Herniation and Hypertrophied Yellow Ligament?. 8th WPOA Free paper sessions, 1985, 11, Bangkok.

36) Katoh Y., Itoh T. and Tsuji H.: Lateral Cl-2 Puncture for Myelography-Technique and Complications—. 8th WPOA Free sessions, 1985,

11, Bangkok.

37) 金森昌彦, 西能正一郎, 西野 竝, 吉岡 勉: 勉: 滑膜ひだが原因と考えられる弾撥肘の1例. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

38) 伊藤俊一, 山田 均, 松井寿夫, 森田多哉, 館崎慎一郎: 半月板以外の因子による弾撥膝の3例. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

39) 清水美恵子, 野口哲夫, 玉置哲也, 伊藤達雄, 館崎慎一郎, 山田 均, 加藤義治, 高野治雄, 森田多哉: 富山市内のモデル校における過去5年間の脊柱側彎症検診. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

40) 森田裕司, 市村和徳, 松井寿夫, 辻 高明, 伊藤達雄: 腫瘍占拠側の対側に明らかな錐体路症状を呈した脊髄硬膜内髄外腫瘍の2例. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

41) 牧山尚也, 吉田孝太郎, 木田泰弘, 館崎慎一郎, 伊藤達雄: 脊髄症状を呈した頸椎黄色靱帯石灰化粧の一治験例. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

42) 下山勝仁, 山田 均, 北野 悟, 石原裕和, 伊藤達雄, 辻 陽雄, 渡辺英夫: 第3腰椎椎体にも広範に及んだ脊髄動静脈奇形(Juvenile Type)の一治験例. 第97回北陸整形外科集談会, 1985, 12, 富山.

43) 山田 均: 膝蓋大腿関節障害に対する dynamic patellar brace. 第3回膝関節フォーラム'85(膝蓋大腿関節障害), 1985, 4, 東京.

44) 山田 均, 加藤義治, 八島省吾, 杉内英治: 大きな骨欠損を伴う際の脛骨コンポーネント単独再置換における一工夫. 第15回人工関節研究会, 1985, 2, 仙台.

45) 伊藤達雄: Odontoid Fracture に対するスクリュウ固定の経験. 第13回北陸骨傷研究会, 1985, 3, 金沢.

46) 平野典和: 陳旧性環軸関節回旋性亜脱臼の1治験例. 第13回北陸骨傷研究会, 1985, 3, 金沢.

47) 海木玄郷: 頸髄損傷に伴う呼吸障害について. 第13回北陸骨傷研究会, 1985, 3, 金沢.

48) 辻 陽雄: 非ステロイド消炎鎮痛外用貼付剤の臨床上的有用性(必要性). 第1回経皮吸収型製剤シンポジウム, 1985, 7, 東京.

49) 玉置哲也, 山田 均, 高野治雄, 高桑一彦, 北川秀機, 清水一夫, 若宮一宏, 上山武史, 永井晃: 胸腹部大動脈瘤人工血管置換術々中の脊髄モニタリングの小経験. 第8回脊髄電気診断研究会, 1985, 東京.

50) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 増山喜一, 齊藤光和, 松井寿夫: Benzaldehyde- β -cyclodextrin (KBC) の抗腫瘍活性—人工肺転移の抑制効果—。第22回日本細菌学会中部支部総会, 1985, 11, 新潟。

51) 高桑一彦, 玉置哲也, 山田 均, 高野治雄, 清水一夫, 北川秀機: 脊髄モニタリングにおける脊髄刺激の安全性。第15回日本脳波筋電図学術大会, 1985, 10, 福島。

52) 米沢孝信, 宮坂 斉, 田中康弘, 前田明夫: 高齢者破傷風の1例。第56回信州整形外科懇談会, 1985, 8, 長野。

53) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 浦山茂樹: ラット尾椎椎間板ならびに enthesi 部への H₂O₂ 注入による結合織骨化誘発の試み。脊柱靱帯骨化症調査研究班講演, 1985, 2, 東京。

◆ その他

1) 辻 陽雄: 急性腰痛。医学講座, ラジオたんぱ, 1985。

2) 辻 陽雄: 腰痛を主訴とする患者の病態解析の仕方と基本。吉富製薬学術講演会, 1985, 2, 東京。

3) 辻 陽雄: 骨の養生。富山南ロータリー第1075回例会, 1985, 3, 富山。

4) 辻 陽雄: 慢性急性腰痛の病態分析と治療法の設計。富山県整形外科医会総会講演, 1985, 5, 富山。

5) 辻 陽雄: 外来での腰痛患者の見かたと治療のコツ。加賀市医師会学術講演, 1985, 5, 加賀。

6) 辻 陽雄: 腰・下肢痛の病態考察と治療法展開への思考。旭川医科大学整形外科開講10周年記念講演会。第69回北海道整形災害外科学会, 1985, 6, 旭川。

7) 辻 陽雄: 『骨粗鬆症』その考え方と治療。滑川市医師会講演, 1985, 7, 滑川。

8) 辻 陽雄: 腰痛症の病因と病態及び治療面からみた鎮痛抗炎症剤の位置づけと選択基準。フェルデンクローズドシンポジウム, 1985, 6, 東京。

9) 辻 陽雄: 外来での腰痛患者の見方と治療のコツ。射水・新湊医師会合同研修会講演, 1985, 8, 新湊。

10) 辻 陽雄: 外来での腰痛患者の見方と治療のコツ。小松市・能美郡医師会, 1985, 8, 小松。

11) 辻 陽雄: 外来での腰痛患者の見方と治療のコツ。神奈川地区ミオナル研究会講演, 1985, 7, 横浜市。

12) 辻 陽雄: 画像診断の進歩と展望。明日の治療指針, ラジオたんぱ, 1985。

13) 伊藤達雄: 脊椎, 脊髄のプライマリーケア。富山県救急医療施設医師研修会, 1985, 9, 富山。

14) 辻 陽雄: 外来での腰痛患者の見方と治療のコツ。七尾市・鹿島郡医師会講演, 1985, 9, 七尾。

15) 辻 陽雄: 腰椎と頸椎のX線の撮り方とみかた。エーザイ(株)学術講演会, 1985, 10, 大阪。

16) 辻 陽雄: 腰椎々間板ヘルニア病態のとらえ方と治療。宮城県整形外科開業医会講演, 1985, 11, 仙台。

17) 辻 陽雄: 成形パップ剤臨床効果と安全性。(適応, 使い分け, 皮膚刺激性, 他剤との比効 etc.)。非ステロイド外用貼付剤の基礎と臨床, ラジオたんぱ, 1985。

18) 辻 陽雄: 腰・下肢痛の病態と治療, その考え方。第10回高知整形外科集談会 高知医科大学整形外科学教定開講5周年記念会講演, 1985, 11, 高知。

19) 山田 均: 公共体育施設におけるスポーツ事故の発生状況と事故防止。昭和60年度社会体育指導員等(後期)研修会, 1985, 10, 富山。

20) 館崎慎一郎: 老人の腰背部痛について。入善町健康推進大会, 1985, 8, 入善。

産科婦人科学

| | |
|-----|---------|
| 教 授 | 泉 陸 一 |
| 講 師 | 長 阪 恒 樹 |
| 講 師 | 川 端 正 清 |
| 講 師 | 岩 間 洋 一 |
| 講 師 | 新 居 隆 一 |
| 助 手 | 細 川 仁 |
| 助 手 | 八 木 裕 昭 |
| 助 手 | 今 井 敏 啓 |
| 助 手 | 栗 栖 久 宣 |
| 助 手 | 脇 博 樹 |

◆ 著 書

1) 泉 陸一編訳: 「内視鏡による婦人科手術学—婦人科および一般外科のための腹腔鏡—」K. SEMM 著, 中央洋書出版部, 1985。

◆ 原 著

1) 泉 陸一: 急性婦人科的疾患—小児検査法の実際—。小児内科 17: 72—74, 1985。

2) 泉 陸一, 長阪恒樹: 体外受精成功へ向けて臨床婦人科産科 39: 806—807, 1985。

3) 川端正清, 細川 仁, 泉 陸一: 扁平上皮癌